

国際ロータリー第 2610 地区DEI研究委員会

……はじめに……

委員長 小山英一

原ガバナー年度の重点課題「地区DEI研究委員会創設」を実現することができました。国際ロータリーは 2021 年 5 月、多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメントを発表しました。

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包括性)な文化を培うことが不可欠であるとの考えです。

私たち、ロータリアンの根底にある価値観、高潔性・他人への思いやり・ビジョン声明達成のために奉仕の心でつながっている仲間意識を大切に、DEIに照らし合わせてクラブを見つめなおして、学び合い、向上し続けていきましょう。

<国際ロータリーがイメージするDEI>

○DIVERSITY=多様性

ロータリーは、あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。

○EQUITY=公平さ

ロータリーは、クラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つよう努めています。

○INCLUSION=インクルージョン(包み込む)

ロータリーは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注ぎます。

2023-24 年度 DEI委員会の取り組み

○原ガバナー年度 メッセージ「ロータリーの魅力を広げよう」

☆ロータリーの魅力を外部の人に話すとき、クラブの居心地の良さを伝えることでしょう

委員会の目的「居心地の良いクラブづくりをめざして」

DEIをわかりやすく D=だれもが

E=笑顔で

I=居心地の良いクラブ

1. DEI委員会目標

- (1) ロータリーにおけるDEIを学ぼう
- (2) 各クラブのDEI成功事例から学ぼう
- (3) できることから始めよう(行動を起こそう)

第1回DEI研究委員会報告

2023年8月19日土曜日 12:00～16:00 国際交流センターにて(別紙委員会組織)
第1回のDEI研究委員会を実施いたしました。

<委員会内容>

1. 自己紹介
2. DEIを知ろう学ぼう
3. DEIの行動規範を確認しよう
4. DEIセッション クラブのDEIについて語ろう
5. 委員会目標・事業案協議
6. その他

1. DEIを知ろう学ぼう

DEIについての2つの動画を視聴して、基本的なDEIの考え方やロータリーにおけるDEIについて確認し合いました。

- (1)2022年クラブ活性化セミナー動画視聴

①「国際ロータリーがイメージするDEI」2620 地区パストガバナー 高野孫左エ門

<https://youtube.com/watch?v=vEsp4Upk3Pg&si=tCxoHq-deVJZ1Yee>

②「インクルーシブなクラブづくりをめざして」RI研修リーダー 服部陽子

<https://youtube.com/watch?v=zPHdh-eEe-U&si=AuREVDunO2fXKx2h>

2. 次にDEIの行動規範・ロータリーの行動規範を読み合わせ、確認しました。

[☆WWW.japanrotary.club](http://www.japanrotary.club)

3. 以上を確認したうえで、まずは身近な、自分のクラブ(委員会)の多様性・公平性・インクルージョンについて意見交換しました。

国際ロータリーの研修方法がトレーニングからラーニングへ移行した考え方を取り入れて、RLI方式アクティブラーニングでディスカッションを行いました。

☆「皆さんのクラブの多様性・公平な取り組み・居心地が良いクラブ運営を大いに語ってください」

☆「なぜ、今DEI？」

☆「この委員会は64クラブのために64クラブの皆さんとともに何ができるでしょう」

……………ディスカッション内容のいくつかをご紹介します……………

- 女性会員が多いクラブです。女性が多いとクラブの雰囲気は和やかでいいですよ
私たちクラブの多様性です。
- 夜間例会の男性だけのクラブです。女性の皆さんは他のクラブをおすすめしています。
一人ひとりの会員にあった役割を分担して(公平性)活動しています。
特に最近出てきてないなあ、という会員に、連絡をして大切な役割を相談して受けて
いただき、つながっています。今のところは男性だけで大丈夫です。(笑))
- 20 代の新入会員がありました。皆さん少しずつ馴染めますように、入会した今を大切に、
本人が居心地が良いと感じるよう、かかわっています。
- 入会 10 年未満の会員を例会後に集めて(集まりたい委員が自発的に)クラブのことを
なんでも語ってもらっています。(我々若手の意見も聞いてもらえる＝公平性
居心地が良いと感じる＝インクルーシブ)入会から 5 年未満の退会者がありません。こ
の取り組みの成果と思います。
- 多様性・柔軟性という考え方がロータリーにも少しずつ広まってきている世の中の風
潮のおかげさまで、私は、入会することができました。私は事業主などではないからで
す。クラブの皆さんと仲良くやっています。やりがいがあります。(多様性の中から見い
だされる貴重な人財)
- 労働者が減少しています。なかなか、新たな人財が見つかりませんでした。障害を持
つ方へと求人幅を広げてみたら、たくさん障害者の方が、お仕事を求めているこ
とに気づきました。障害者の方を雇用して(多様性)行きたいです。障害者といってもか
なり障害の度合いに段階があることもわかってきましたので、平等に雇うのではなく、一
人ひとりに寄り添って公平に雇うことを考えています。こういったことを考えてもDEIの考
え方は必要だと思います。
- DEIをクラブにと提案されて、その受け止めも 64 クラブ多様だと感じます。
DEIをもっとわかりやすく身近な言葉で伝えたいですね。
- DEI各クラブの事例を、委員会を通して皆さんに知っていただけたら良いです。
- 地区委員会の委員長はじめ、委員の皆さんの選出も、より多様に、そして公平にできたら
と考えます(地域・年齢・ロータリー歴・性別などバランス良く)。
- 地区委員会の中でも皆さんの意見が反映されるように、役割分担がやりがいのある自
発的なものであるように、インクルーシブな運営方法、環境を考えたらと思います。
(ラーニングファシリテーターの役割)
- ロータリーの多様性には、あらゆる背景を持つ会員のほかに、インターアクト・ローター
アクト会員や米山奨学生・青少年交換留学生の皆さんを含めた多様な皆さんが、居心
地の良いクラブづくりを考えたい。
- 男性ばかりのクラブに、女性の米山奨学生・交換留学生在が配属の場合も考えられるの
で会員基盤をさらに広げて行くことも大切だ。
- 対面例会だけでなく、リモート例会など一人ひとりの会員に寄り添ったクラブ環境づくり
が大切と考えます。

- すべての会員が40歳以上のクラブです。このところ新会員入会が続いているので10年後20年後のクラブも、居心地が良いクラブであり続けるように、取り組んでいきたい。
- 多様な会員の声に耳を傾け、「食事はいらぬよ会員」に対応しています。食事なし会員は、食事が必要な時に1,500円払います。
海外在住会員に対応しています(多様)。そのため、対面参加会員とリモート参加会員に対応しています(公平)
- DEIという横文字がわかりにくい、馴染めない、もっと64クラブの皆さんにわかりやすい言葉で伝え、浸透させたい。
- クラブ事務局員も一つの職業と考え、事務局員に入会していただいた。これも、会員の基盤を広げる多様性だと思います。
- なぜ、今DEIなのか
人口減少・災害など何が起こるか分からない時代だからこそと考えます。
労働人口の減少は避けられないので、シニア・女性・外国人労働者・障害者等の活躍を期待するなど多様な労働者の協力が必要です。
一人一人に寄り添ってみんなで話し合い主体的に考える時代ですね。

2. 主な事業内容

- ☆ガバナークラブ訪問で会員に発信
- ☆ガバナー月信・地区ホームページで発信(委員会より)
- (1)地区リーダーが学ぶ機会を確保する(地区チーム・ガバナー補佐・ペット会議など)
- (2)地区グループで学ぶ＝インターミーティングなど
- (3)クラブリーダーが学ぶ機会を考える(会長・エレクト・幹事)
- (4)各クラブで学び合う(インターアクト・ローターアクトなども含めて)
- (5)各クラブでの事例から学ぶ(委員会で実態調査を実施する)
- (6)優れた事例について 地区表彰を行うことを考える
- (7)DEI学びサイトの紹介をする

[| My Rotary](#) (マイロータリー ラーニングコース)

3. 委員会の運営方法について

- (1)トレーニング→ラーニング 参加者自身が主体となって取り組む委員会運営
委員長はラーニングファシリテーターとなれるように
RLIファシリテーターと連携
- (2)原ガバナー年度は研究委員会→大橋ガバナー年度は常設委員会へ
- (3)戦略計画策定特別委員会、危機管理委員会、会員拡大・増強委員会と連携

言行はDEIにも照らし合わせて学びを大切に行動していきましょう(終わりなき旅路)

<DEI研究委員会組織>

ガバナー	原 勉(白 山)
ガバナーエレクト	大 橋 聡 司(宇奈月)
第2 地域ロータリーコーディネーター補佐	
	黒 川 伸 一(富山南)
委員長	小 山 英 一(小松東)
副委員長	中 村 英 一(白 山)
委 員	酒 谷 正 人(志 賀)
	諸 江 隆(金沢香林坊)
	岡 田 等(河北南)
	中 田 吉 則(金沢東)
	石 瀬 孝 昭(金沢南)
	平 木 留里子(富山みらい)
	東 出 悦 子(富 山)
地区幹事	宮 本 哲 一(白 山)
担当副幹事	石 澤 康(野々市)